

○七ヶ宿町移住定住支援センター管理業務
(令和8年度から令和12年度)

○一般廃棄収集・運搬業務委託事業
(令和8年度から令和10年度)

2620万円

問 渡部 英幸 議員
移住定住センター管理業務の債務負担行為が前回より500万円増えている理由は。

答 ふるさと振興課長
令和6年度実績と令和7年度見込み平均を基礎に、最低賃金引上率と物価高騰を見込み5%を加え、令和8年度は1400万円、令和9年度以降は3%加算し5年間の債務負担行為の総額を7500万円とした。

◆議案第74号 七ヶ宿町介護サービス特別会計補正予算(第1号)

○高齢者生活福祉センター管理業務委託
(令和8年度から12年度)

5000万円

問 渡部 英幸 議員
高齢者生活福祉センター指定管理料増加の理由は。

答 町長
物価上昇や人件費の増加、利用者の減少を考慮し変更した。

去る、1月8日より2日間、千葉県美浜区にある「市町村職員中央研修所」にて、議員研修が行われました。盛りだくさんの内容で、今後の議員活動に役立てます。

議員研修



- 1月8日
 - ①「久住昌之のニッポンふらっとグルメ」
 - ②「被爆体験記朗読会及び被爆体験講話」
 - ③「主権者教育・政治離れを防ぐための第一歩」
 - ④「自治体財政の基本と予算審議のポイント」

今月号の表紙は第1回「こども議会」です。

12月15日に小学5・6年生と中学生1・2年生が議場で子ども議会を行いました。行政に対して的一般質問では生活や教育、将来の町づくりなど、率直で柔軟な視点からの質問がありました。児童・生徒ならではの発想から、活発な意見が出されました。



所管事務調査報告

「入浴施設の利用状況とチップ生産施設の現状は」

調査実施日 令和7年11月5日(火)

調査事項 入浴・バイオマス施設並びに木材チップ生産施設の現状と課題について

総務文教常任委員会 委員長 五十嵐 敏夫
産業建設常任委員会 委員長 渡部 英幸

入浴施設「やすまっしぇ」・バイオマス施設並びに木材チップ生産施設の現状について総務文教、産業建設両委員会の合同所管事務調査を行った。

入浴施設「やすまっしぇ」は令和元年度の開設当初より、令和6年度にて、6割増加の16,226人の利用者増加につながっている。しかし、人件費や光熱水費、燃料費の高騰に伴い、令和6年度では約1,176万円赤字を計上している。また、ボイラーの修繕費はこれまでの2年間にて、約250万円となっている。

バイオマス施設においては、令和6年度にて売上額から仕入金額を差し引いた収入は約800万円である。しかし、近年トラクターチッパー機の故障による修繕費が徐々に発生していることから、今後の事業の継続について各委員から以下の意見や提言が出されました。

【入浴・バイオマス施設】

- ①ボイラー施設の定期点検とマニュアルの整備の再確認が必要である。
- ②コンピューター管理による機械管理装置の導入が必要である。
- ③今後の利益向上のため、光熱水費と燃料費の高騰に対する対応が必要である。

【木材チップ生産施設】

- ①チップの水分量が多いため供給先の減少がみられるので、作業改善が必要である。
- ②チッパートラクターの不具合が増加しているので、修繕の為のメーカーとの詳細な打ち合わせが必要である。

以上、より良い施設管理体制の構築を切に望み報告とします。



【訂正とお詫び】

議会だより256号に掲載した写真説明に誤りがありました。

内容確認が不十分であったことを深くお詫び申し上げます。正しい内容は次のとおりです。

令和7年11月1日発行 第256号 16p 高橋 浩之議員 一般質問内の写真説明
誤【町有林間伐材搬出道路】→正【民有地の作業道】